

2. 作物（水稻・畑作物・果樹等）関係の技術・営農支援情報

プラウ耕・鎮圧を特徴とするNARO方式乾田直播 （代掻き時期までに入水できない場合）

1. 令和6年能登半島地震により、多数の圃場で用水路や圃場の損壊が発生しています。本資料ではプラウ耕・鎮圧を特徴とするNARO方式乾田直播を用いて、代掻き時期までに入水できない場合（その後入水が見込まれる場合）の水稻栽培方法（技術）を紹介します。
2. 圃場耕盤の損傷に対し、圃場鎮圧作業により圃場表層に不透層（下層へ水を通さない層）を形成することで、代掻きを行わずに圃場に水を貯めることが可能です。
3. 圃場鎮圧作業についてケンブリッジローラ（参考価格 スガノ農機 けん引式 3m 110万円）等を利用することで鎮圧効果が高まります。
4. 耕起、砕土・整地はロータリ、播種はロータリシーダ等も利用できますが、乾田期の雑草防除にブームスプレーヤ等が必要です。
5. 入水後管理は基本的に移植栽培と同じとなります（参照URLを参照）。



図1 NARO方式乾田直播栽培の作業の流れ

（参考URL）乾田直播栽培体系標準作業手順書

https://www.naro.go.jp/publicity_report/publication/laboratory/naro/sop/135013.html

問い合わせ先：農研機構 東北農業研究センター広報チーム 019-643-3414
中日本農業研究センター広報チーム 029-838-8421